

## 共創拠点の最前線を巡る、実践型交流ネットワーク

## オープン・イノベーション推進者交流会議

～座学中心から「サイト訪問・ベンチマーク・現場体験」中心に転換～

開催にあたって

本交流会議は2013年、日本企業におけるオープンイノベーションの黎明期に発足し、以来11年間にわたり理論と実践方策の共有を図るコミュニティとして継続開催してまいりました。参加メンバーはモノづくり企業のオープンイノベーション推進責任者・リーダーを中心に構成され、過去の参加企業や登壇者には、技術力を背景に事業転換を図るべく企業が名を連ねています。今般12年目(第12期)を迎えるにあたり、運営方針を従来の「座学・議論中心」から「サイト訪問・ベンチマーク」へと大きく転換し、現場体験を通じて、組織、マネジメント施策、評価指標等を深く掘り下げるとともに、参加メンバーが抱える課題の解決策を見出す絶好の機会かと存じます。熱意ある皆様のご参加をお待ち申し上げます。

※ 入会ご検討中の方は、第2回例会に限り体験参加頂けます(要事前予約)。

開催要領

期 間：2026年4月～2026年12月 (全9会合)  
日 時：年間プログラムの開催日程に沿って開催 (原則 13:30～17:00)  
開 催：先進各社の「共創の場」の訪問とベンチマーク、推進リーダーとの対話

第1回例会：IBM Innovation Studio (東京・虎ノ門)訪問と対話 2026年4月13日(月) 13:30～17:00

### 【基調講演】失敗は成功の母!? 日本IBMエコシステム 共創本部のミッションと活動

(ご講演) 日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員  
テクノロジー事業本部 エコシステム共創本部長 村澤 賢一 氏



1999年ブライズウォーターハウスコーポレーション日本法人に入社。2002年買収によりIBMの一員に。プロセス変革コンサルティングを中心に活動。2017年から製品主管部門に移り、IoT、AIアプリケーションなどを担当。2023年からエコシステム共創本部にてビジネスパートナー各社様との共創事業をリード。

第2回例会：会場開催 (東京・品川) 2026年5月20日(水) 13:30～17:00

### 【基本解説】ISO56001/56002に基づくオープン・イノベーションの マネジメントシステム(O-IMS)創り

(ご講演) (一社) Japan Innovation Network 常務理事 IMSエバンジェリスト  
元大阪ガス(株)オープン・イノベーション室長 松本 毅 氏



※ご略歴は次頁ご参照

第3回例会：積水化学工業・水無瀬イノベーションセンター (大阪・島本町)訪問と対話 2026年6月中旬 13:30～17:00

### 【講演】積水化学工業におけるオープンイノベーション活動 (仮)

(ご講演) 積水化学工業株式会社 R & Dセンター先進技術研究所 所長  
(兼) 京都工芸繊維大学 特任教授 日下 康成 氏



2005年4月/積水化学工業(株)入社 (高機能プラスチックカンパニー 開発研究所 DMセンター)、2012年4月/高機能プラスチックカンパニー 開発研究所 評価分析グループ テクノロジープラットフォームリーダー、2018年4月/高機能プラスチックカンパニー 開発研究所 技術融合チーム チーム長、2019年4月/高機能プラスチックカンパニー 開発研究所 テクノロジーイノベーショングループ グループ長、2020年10月/コーポレート R & Dセンター 先進技術研究所 情報科学推進センター センター長、2024年10月/先進技術研究所 所長。2015～2018企業研究会「オープンイノベーション推進者交流会」に参加。

第4回例会：リコー・TRIBUSスタジオ (神奈川・海老名)訪問と対話 2026年7月中旬 13:30～17:00

### 【講演】オープンイノベーション活動とTRIBUSスタジオの役割 (仮)

(ご講演) 株式会社リコー 未来デザインセンターTRIBUS推進室 TRIBUSスタジオ館長  
事業創造プロデューサー 森久 泰二郎 氏



宇宙科学研究所にてX線人工衛星「すざく」の開発の後、株式会社リコー入社。複写機制御システム開発、民生用デジタルカメラ開発を経て、産業機器に関する新規事業にプロジェクト・プロダクトマネージャーとして従事。現在は社内外統合型アクセラレータープログラムTRIBUSの運営及び海老名にあるTRIBUSスタジオの運営を行う。

## 【講演】SHIMADZUのオープンイノベーション活動とみらい共創ラボ（仮）

（ご講演） 人選中

## 【講演】大阪ガスのオープンイノベーション活動 ～知の化学反応を加速させる Daigas Innovation Center～

（ご講演） 大阪ガス(株) 理事 先端技術研究所 所長 川本 将則 氏



1996年 東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻修士課程修了、同年 大阪ガス株式会社入社、2009年 燃料電池システム部 マネジャー、2015年 資源・海外事業部資源トレーディング部 マネジャー、2018年イノベーション本部 マネジャー、2021年 Daigasガスアンドパワーソリューション株式会社取締役 経営企画本部長、2023年 同社 取締役 エンジニアリング事業部長、2025年 大阪ガス(株) 理事 事業創造本部 先端技術研究所長、現在に至る。

### 以降のスケジュール

第7回以降は、基本的に下記の時間構成で進めて参ります。詳細日時は確定次第、ご案内申し上げます。

第7回：10月

第8回：11月

第9回：12月

第1部：13:30～15:00

- ・共創の場の体験見学
- ・お取り組み拝聴



第2部：15:00～17:00

- ・コーディネーターとの対話
- ・以上を踏まえての全体討議

### 参加対象と参加に関するお願い

1. オープン・イノベーション推進活動に強い問題意識を持つ事業会社の推進の方々。
2. イノベーションを生み出す空間設計、行動様式、空気感を体現したいの方々。
3. 戦略的意図も含む議論を深めて頂くためにも、本音ベースのGive & Take、相互の守秘義務を順守頂ける方。
4. 企業規模、役職、経験に関係なく積極的に参加する。

### 本交流会議の価値・特徴

1. オープン・イノベーションの目的、組織の役割機能、社内外連携、仕組みづくりなど、具体的な進め方や新潮流など、サイト訪問、取り組み紹介から理解が深まります。
2. 知識、経験の交流を深めることにより、業種・業態・組織の壁を超えた新しい発想や手法を学ぶことができ、また、対話を通じて現場で活かせる施策を共有します。
3. 単なる情報交換だけでなく、情報や意見の背景にある実務に直結したノウハウの交換が行えます。また、社内外のネットワークを広げ、パーソナルバリューの向上、メンバー企業間の交流にもつながります。

### 構成と推進体制

#### ■全体コーディネーター 兼 ファシリテーター

松本 毅 氏

一般社団法人 Japan Innovation Network 常務理事  
IMS（イノベーション・マネジメントシステム）エバンジェリスト  
元 大阪ガス株式会社 オープン・イノベーション室長



1981年に大阪ガス(株)入社後、数々の新規事業創出に成功。凍結粉砕機の開発、受託粉砕ビジネス立ち上げ。特別プロジェクトグループリーダー。薄膜センサーの研究開発・事業化。基盤研究所研究企画リーダー。東京駐在として、技術開発国家プロジェクトを多数立ち上げた。技術企画室課長。大阪ガスの全社技術戦略の企画立案、海外との技術アライアンス戦略などを推進。人事部で日本発のMOT（技術経営）スクールを設立し、教育事業を推進。2008年9月、技術戦略部オープン・イノベーション担当部長、2009年4月、オープン・イノベーション室長。

2016年4月から2019年2月まで、株式会社ナインシグマ・ジャパン ヴァイスプレジデント。2019年3月から2020年9月までナインシグマ・アジアパシフィック顧問。2020年から兼務でリンカーズ株式会社顧問（Open Innovation Evangelist）国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「自己評価委員会」委員／内閣府日本オープンイノベーション大賞専門委員会委員／NPO法人産学連携学会 理事／大阪市「イノベーション創出支援補助金検討委員会」委員長／経済産業省「グローバルオープンイノベーションに向けた国際共同研究の在り方に関する調査委員会」委員／日本学術振興会「『未来を創造するイノベーションサイエンスの創成』に関する先導的研究開発委員会」委員／文部科学省・JST国プロ「理化学研究所 健康“行き活き”リサーチコンプレックス推進プログラム事業化支援グループ」ディレクター／（理化学研究所・非常勤職員 2015年～2020年）などを歴任。

#### ■ その他、交流会議活動に助言・コメントを頂く、研究アドバイザー・実務家運営幹事をご依頼中

# 前期（11期）活動内容（2024年12月～2026年9月：全会合実施）

第1回	【基調講演】「マーケティングマインドの企業のみが生き残る～YOKOGAWAのマーケティングによる企業改革と新規事業創出～」 横河電気(株) 執行役常務 マーケティング本部本部長 CMO 阿部 剛士 氏 【オリエンテーション：前期活動紹介／今期の4つの分科会討議テーマ紹介／メンバー交流前など】
第2回	【コーディネーター講演】「ISO56002に基づくオープン・イノベーションのマネジメントシステム「O-IMS」創りの重要性」 (一社) Japan Innovation Network 常務理事 IMSIバンジェリスト 松本 毅 氏 【テーマ別分科会討議：第1回】
第3回	【特別対談】「イノベーションマネジメントのあるべき仕組み」 (株)シマノ 代表取締役副社長 豊嶋 敬 氏 / (ファシリテート) 松本 毅 氏 (一社) Japan Innovation Network 常務理事 【テーマ別分科会討議：第2回】
第4回	【ゲスト講演】「リンカーズの活動と展開事例～最適マッチングの提供によるイノベーション創出のために～」 リンカーズ(株) 取締役 加福 秀互 氏 【テーマ別分科会討議：第3回】
第5回	【ゲスト講演】「新たな価値創出に向けたK R Iの活動と成果」(株)K R I 代表取締役社長 重定 宏明 【テーマ別分科会討議：第4回】
第6回	【合研究会】「K O Aにおけるオープンイノベーション活動紹介」(株)KOA IMS推進センター ゼネラルマネージャー 坪木 光男 氏 【テーマ別分科会討議：第5回】
第7回	【ゲスト講演】「大阪ガスにおけるフードサイエンスの取り組み～今後の方向」大阪ガス(株)事業創造本部 未来価値実現部 野郷 達也氏 【テーマ別分科会討議：第6回】
第8回	【ゲストパネリスト講演】「P&Gのオープンイノベーションとイノベーションマネジメント」元P&Gイノベーション(同) ヘッド オープンイノベーション (Japan,Korea) 本交流会議 研究アドバイザー ラーダキリシャナン ナーヤ 氏 「オープンイノベーションとイノベーション・マネジメント～新規事業創出の実践と国際標準に基づく評価手法～」 国立大学法人 東京農工大学 大学院工学府産業技術専攻 副専攻長 教授 林田 英樹 氏 【テーマ別分科会討議：第7回】
第9回	【テーマ別分科会討議、第8回】 集中討議
第10回	【研究成果発表】

## 前期（11期）参加企業一覧

※企業名50音順

味の素(株)	バイオ・ファイン研究所 兼 研究管理部企画・推進グループ	パナソニック(株)	エレクトリックワークス社知的財産センター 課長
オリンパス(株)	イノベーションマネジメントオフィス	日立建機(株)	研究・開発本部オープンイノベーション推進室
オルガノ(株)	技術開発本部 開発センター 企画管理部 課長	日立建機(株)	研究・開発本部オープンイノベーション推進室
国分グループ本社(株)	サブイノベーション統括部イノベーション推進課長	日立建機(株)	研究・開発本部オープンイノベーション推進室 主任技師
国分グループ本社(株)	執行役員 経営企画部長 兼 サステナビリティ推進部長兼 イノベーション推進部長	富士フイルムビジネス イノベーション(株)	デバイステクノロジー-事業本部 化成品開発部 材料技術開発チーム長
サントリーグローバル イノベーションセンター(株)	イノベーション企画部 戦略企画第2グループ	富士フイルムビジネス イノベーション(株)	デバイステクノロジー-事業本部 化成品開発部 画形材開発推進G
サントリーホールディングス(株)	イノベーション企画部 戦略企画第2グループ 課長	富士フイルムビジネス イノベーション(株)	デバイステクノロジー-事業本部 機能部材開発部
シュナイダーエレクトリックHD(株)	開発部	三菱ガス化学(株)	東京研究所
シュナイダーエレクトリックHD(株)	開発部	三菱ガス化学(株)	東京研究所
(株)ニチレイフレッシュ	調達生産本部 企画グループ プロフェッショナル	(株)LIXIL	技術企画部オープンイノベーション 推進グループリーダー
(株)ニチレイ	新価値創造部		

## 参加要領

【事業コード：260171】

### ■ 参加費／1口で2名までご参加いただけます。

正会員：275,000円（本体価格 250,000 + 税）

一般：308,000円（本体価格 280,000 + 税）

※上記料金は資料代・通信費などを含んでおります。  
※合宿研究会など実施の際は、参加費を別途ご請求致します。  
※参加費の分割支払いや請求品目変更も可能です。  
お気軽にご相談ください。

### ■ 申込方法

企業研究会のウェブサイトで

オープン・イノベーション推進者交流会議



「お申込は[こちら](#)からお申し込みください。

※お申込みをいただいた方（含む体験参加の方）には、  
第1回例会のご案内をメール送信いたします。

### ■ 体験参加

第2回例会（5/20）は、参加をご検討中の方に、  
本会議の雰囲気をご覧頂く体験参加が可能です。

要：事前予約。

※「体験参加」は、正式参加メンバー募集の一環として  
ご案内しております。  
体験参加後、正式ご参加をいただく際、正規のご参加  
費を申し受けます。

### ■ お問い合わせ・お申込先

一般社団法人 企業研究会 担当:池田（いけだ）

E-mail : s-ikeda@bri.or.jp

TEL: 080-1393-5595 (直通)

〒110-0015 台東区東上野1-13-7 ハナブサビル